

令和4年11月 1日

地域にお住まいのみなさまへ

国土交通省中部地方整備局
木曾川上流河川事務所

第2回長良川遊水地河川環境調査検討会を開催しました。

- 長良川遊水地の整備においては、事業箇所及び周辺を含めた環境調査を継続し、重要種の分布を確認するとともに、生息環境の保全に努めていくこととされています。
- その具体的な手法について検討するため、木曾川上流河川事務所では、「長良川遊水地河川環境調査検討会」を設置し、令和4年9月29日(木)に第2回検討会を開催しました。
- 第2回検討会では、横越地区、池尻地区の生態的な機能と影響範囲、保全対象種の選定や移植先等について事務局より説明し、了承されました。
- また、委員からは、環境を創出する遊水地設計の検討も必要との意見がありました。これについては、今後、遊水地の詳細な設計を行う中で検討いたします。

《委員》

西條 好迪 (一財)自然学総合研究所理事長

藤田 裕一郎 岐阜大学名誉教授

森 誠一 岐阜協立大学教授

《オブザーバー》

岐阜県 県土整備部 河川課長、関市 基盤整備部 土木課長、美濃市 建設部 土木課長

【委員からの主な意見と事務局の回答】

- 横越地区は、オオサンショウウオやネコギギの生息にとって重要度が高いのではないかと考えられるため、過去の現地調査について、確認種の分布の粗密を把握できているかどうかを知りたい。
→調査時に個体数も含めて記録しているため、事務局で資料を整理し共有する。なお、共有は貴重種保護の観点より各委員に対してのみ行うこととしたい。
- 遊水地事業が動植物の保全に配慮して行われることは、中部圏においては画期的と認識し、期待している。他方、移植することに力点が置かれすぎている。事業による環境負荷を前提としつつも同時並行で環境創出の検討も必要である。
→治水と環境の両立は大きな検討課題と認識している。今後遊水地の詳細設計を行う中でしっかり検討していきたい。



検討会の様子

当日の資料及び議事要旨については、
下記ウェブサイトにて公開しています。
https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/nagara_yusui/

＜問い合わせ先＞

国土交通省木曾川上流河川事務所 調査課

住所: 岐阜市忠節町5丁目1番地

連絡先: 058-251-1125 (直通)